

保健学科教育学修プログラム

看護学専攻

令和8年度 前期

4年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

保健学科看護学専攻 4 年次目次（前期）

区分		授業科目名	科目責任者			
選必	専門科目	医療コミュニケーション	深田美香	:	1	～ 2
必修	専門科目	包括的支援統合演習	鈴木康江	:	3	～ 6
必修	専門科目	クリティカルケア看護学実習	野口佳美	:	7	～ 8
必修	専門科目	包括的支援統合実習	鈴木康江	:	9	～ 11
必修	専門科目	看護学研究法Ⅰ	坂根可奈子	:	12	～ 13
選択	専門科目	助産診断・技術学演習Ⅱ	鈴木康江	:	14	～ 16
選択	専門科目	助産業務管理実習（通年）	鈴木康江	:	17	～ 19
選択	専門科目	助産学実習（通年）	鈴木康江	:	20	～ 22
選択	専門科目	包括的地域助産学実習（通年）	鈴木康江	:	23	～ 24

※選択科目：選択、選択必修科目：選必、必修科目：必修は令和5年度入学者を基準としています。

※専門科目については、課程表を確認してください。

科目コード／Subject Code	M7416002
ナンバリング／Numbering	MXCOM3001
科目名／Subject Name	医療コミュニケーション
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	深田 美香, 古澤 有峰, 安部 由紀, 河月 稔, 南前 直都, 服部 多恵, 中條 雅美, 佐藤 研吾
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	
曜日・時限／Week・Hour	月 1
単位区分／Unit Classification	必修または選択必修
授業形態／Lecture Form	
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	深田 美香（基礎看護学）アレスコ棟106 古澤有峰（基礎看護学）アレスコ棟 中條雅美（成人・老人看護学）アレスコ棟 安部由紀（地域・精神看護学）アレスコ棟 服部多恵（母性・小児家族看護学）アレスコ棟 河月稔（生体制御学）アレスコ棟 佐藤研吾（病態検査学）アレスコ棟
オフィスアワー／Office Hours	月曜日2限 事前に連絡をお願いします。
担当教員への連絡方法／Contact Details	深田美香 アレスコ棟1階 106室 TEL：0859-38-6306 E-mail：mikafkd@tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要／Course Description and Outline	【目的】 医療従事者に求められるコミュニケーションについて考察し、人間関係を構築するために必要な知識や技能を習得する。 【概要】 検査技術科学専攻と看護学専攻の教員によって、医療に関わるテーマに添った講義・演習を行う。
キーワード／Keywords	伝達、共感、共有、人間関係、感情、内省、倫理
到達目標／Objectives	医療従事者として、患者や家族および他の医療職者との良好な人間関係を構築するために、必要な態度とコミュニケーションに関する基本的知識ならびに技能を修得することができる。
他の科目との関連／Prerequisite	臨地実習や臨床実習と関連するため、その体験を通して自己の課題を見出すことに繋がり、学習が深まります。また、これからの臨地実習や臨床実習に、本講義での学びを活かすことで、コミュニケーションスキルが向上することが期待できます。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	各講義時に、資料を配布する
授業の形式／Classwork	講義（オムニバス形式）
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	各回の授業最後に、テーマに沿ってレスポンスシート（10点満点）を記載し提出する。80点（10点×8回）を100点満点に換算し評点とする。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	実習での体験を想起しながら改めてコミュニケーションについて考えてみましょう。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	看護師、臨床検査技師、医師などの業務に携わった経験のある教員が、その経験を活かし、各人の専門分野に関する講義・演習を行う。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/6(月)1時限]【121講義室】	多職種連携とコミュニケーション	予習：臨床検査技師や看護師が、どのような職種と、どのような場面で連携協働しているのかを整理する。復習：多職種での連携協働のために、自身はどのような点を意識して他の職種とコミュニケーションを行うのかまとめる。	【担当者】基礎看護学・南前 直都
2[4/13(月)1時限]【121講義室】	医療現場のコミュニケーション	予習：自分のコミュニケーションの傾向を振り返る。復習：ロールプレイの振り返りをレポートとして提出する	【担当者】成人・老人看護学・中條雅美
3[4/20(月)1時限]【121講義室】	医療者としてのコミュニケーション：何を、どう伝えるか？どう伝わるのか？	予習：今までのコミュニケーション場面を振り返り、医療現場に求められるコミュニケーションのあり方について考察してくる(30分)。復習：授業を振り返り、学びについてのレポートを作成する(1時間)。	【担当者】母性・小児家族看護学・服部 多恵
4[4/27(月)1時限]【121講義室】	医療現場における異文化背景をもつ患者とのコミュニケーション	予習：言語が通じない人と出会った時のことを振り返っておく。海外へ行ったことのある人はその時のことを思い出し、自分がどのような気持ちになったか思い出しておく。復習：異文化背景をもつ患者さんに医療従事者として不安を軽減できるような対応能力を習得するにはどうしたらよいかを考える。可能であれば、それを実行する。	【担当者】地域・精神看護学・安部由紀
5[5/7(木)1時限]【121講義室】	認知機能低下者とのコミュニケーション	予習：認知機能や認知症の行動・心理症状について予習する。復習：配布資料を用いて復習する。	【担当者】生体制御学・河月 稔
6[5/11(月)1時限]【111講義室】	医療説明（疑似体験）	予習：事前に配布する資料を予習して下さい。復習：病院実習期間中に意識して下さい。	【担当者】病態検査学・佐藤研吾
7[5/18(月)1時限]【111講義室】	比較文化・研究法から考える「健康・医療・コミュニケーション」	予習：事前に配布する資料に目を通しておく。復習：授業後に配布資料も参考に復習する。	【担当者】基礎看護学・古澤 有峰
8[5/25(月)1時限]【111講義室】	「病の語り」と共感性再考	予習：「共感」について自分の考えを整理する。復習：「病の語り」を通して考えたことをまとめる	【担当者】基礎看護学・深田美香

科目コード／Subject Code	M7416061
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	包括的支援統合演習
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	鈴木 康江, 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 松浦 治代, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 宮本 まゆみ, 中條 雅美, 山崎 歩, 兵頭 由季, 坂根 可奈子
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 2, 月 3
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	鈴木 康江, 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 宮本 まゆみ, 中條 雅美, 山崎 歩, 兵頭 由季, 坂根 可奈子
オフィスアワー /Office Hours	月～金：8：30-17：00（事前にメール等でアポイントメントをとると確実です）
担当教員への連絡方法 /Contact Details	鈴木康江（0859-38-6326、ysuzuki@tottori-u.ac.jp、アレスコ棟306号室） 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 宮本 まゆみ, 中條 雅美, 山崎 歩, 兵頭 由季, 坂根 可奈子各研究室（アレスコ棟1号館）
授業の目的と概要 /Course Description and Outline	対象中心の包括的支援における看護（職・学）の果たす役割を演習を通して理解する。 対象者に必要な看護を適切に適用する仕組みを、対象中心の多職種連携による包括的支援の側面、および対象者に看護が適切に提供される管理的側面から理解する。 対象中心の包括的支援について、対象の多様性に応じた専門的あるいは特徴的な看護が提供されていることを演習を通して理解する。 さらに、包括的支援統合実習を終えた後に、対象者中心の包括的支援における看護の果たす役割のよりよい在り方について考察する。
キーワード /Keywords	対象中心ケア、包括的支援、多職種連携・協働、看護管理、専門的看護
到達目標 /Objectives	①対象中心の包括的支援における看護の果たす役割のよりよい在り方について述べられる。 ②対象者に必要な看護を提供する仕組みを説明できる。 ③対象者の多様性（ライフサイクル、健康レベルの側面、生活の場の側面）に応じた看護場面から包括的支援の資源としての看護の多様性について述べられる。
他の科目との関連 /Prerequisite	包括的支援基盤実習：健康生活・ヘルスプロモーション、健康課題解決過程実習：基盤（個人）・基盤（地域）・母性・小児・成人・老年・精神・在宅・公衆衛生
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	適宜、紹介します
授業の形式 /Classwork	演習 4月8日 オリエンテーションを112講義室でするので、集合してください。 全体オリエンテーション終了後に領域別オリエンテーションを実施します。 122講義室：領域1、領域3、領域5 112講義室：領域2、領域4、領域6 2限からは122講義室で講義します。
成績の評価方法と基準 ／Assessment	課題レポート（80％）、その他（20％）（要項参照）
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	3年生の末に各領域は希望調査の上、配属しました。 最後の発表で、学生・教員の投票により、優秀ポスター賞を表彰します。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	要項を参照
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	・現代的教養（特定の専門分野に関する理解） ・現代的教養（論理的な課題探求と解決力） ・現代的教養（創造性に富む思考力） ・人間力（自律性に基づく実行力） ・人間力（多様な環境下での協働力） ・人間力（高い倫理観と市民としての社会性）

ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床経験のある教員による指導。

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1 [4月6日 (月) 3限] 【122講義室】	演習全体のオリエンテーション 包括的看護 (支援) について / 【キーワード】 包括的看護, 看護の対象	予習: 要項を熟読しておくこと 復習: 演習の各領域内容について要項を熟読する鳥取県の現在の医療の課題や今後予測される課題について講義を基にまとめる	【担当者】母性・小児家族看護学講座 金山俊介・山崎歩 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習)) 全体オリエンテーションの後、領域別オリエンテーションを実施 (講義室分散)
2 [4月7日 (火) 1限] 【122講義室】	医療機関における看護の質を高める支援: 看護管理① / 【キーワード】 看護連携 看護の質, 看護管理, 組織	予習: キーワードについて、図書館やインターネット等を活用して看護管理やマネジメントについて予め調べておく。復習: 看護管理について講義で学んだ内容をまとめる。	【担当者】基礎看護学講座、宮本まゆみ / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
3 [4月7日 (火) 2限] 【122講義室】	医療機関における看護の質を高める支援: 看護管理② / 【キーワード】 インシデント, リスクマネジメント, SHELL分析, なぜなぜ分析	予習: キーワードについて、図書館やインターネット等を活用して看護管理やマネジメントについて予め調べておく。復習: 看護管理について講義で学んだ内容をまとめる。	【担当者】基礎看護学講座、宮本まゆみ / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
4 [4月7日 (火) 3限] 【112講義室】	附属病院における看護管理の実践 / 【キーワード】 高度医療, 総合病院, 地域医療	予習: 附属病院の組織や看護部の理念、教育などについてHPを確認して整理・把握しておく 復習: 講義内容を基にポイントを整理しておく	【担当者】附属病院・看護部長 森田理恵 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
5 [4月7日 (火) 4限] 【112講義室】	地域で生活する人々の保健予防活動の支援 / 【キーワード】 地域, 保健予防活動	予習: 講義で学習した地域包括ケアシステムおよび「健やか親子21 (第2次)」および、子育て世代包括支援センターの仕組みについて再度確認をしておく 復習: 講義内容を振り返り関係機関とその活動内容についてまとめる	【担当者】公衆衛生分野・金田由紀子 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
6 [4月8日 (水) 1限] 【122講義室】	在宅で療養する対象への支援 / 【キーワード】 在宅支援, 多職種連携, 家族支援, 在宅看護指導, プライマリケア, 連携調整とマネジメント, 専門職	予習: サービス担当者会議の目的、意義、開催時期、在宅におけるケアマネジメントとはについて調べてまとめる。復習: これまでの実習を振り返り、在宅で療養する対象への支援をまとめる	【担当者】在宅看護学分野・雑賀倫子 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
7 [4月8日 (水) 2限] 【122講義室】	クリティカルな状況にある医療施設入院中の対象への支援 / 【キーワード】 多職種連携, 医療施設 (高度急性期医療施設), 専門職	予習: キーワードについて、講義・実習を振り返り、クリティカルな状況にある入院中の対象者の特徴について整理しておく。復習: 講義内容を振り返り、クリティカルな状況にある対象者の支援と看護師の役割についてまとめる。	【担当者】成人看護学講座・野口佳美 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
8 [4月8日 (水) 3限] 【131講義室】	疾病や障がいと共に社会生活を送る対象への支援 / 【キーワード】 多職種連携, 包括地域ケア, 専門職, 家族支援, 地域ケア	予習: テーマやキーワードについて、関連資料を読んだり、当事者の書籍や映像に触れる。また、「自身の家族や大切なひとの病いのストーリーと自分」について、「家族や大切なひとのストーリーを自分はどのように体験したのか」、について振り返り、他者へ伝えられるように整理する。復習: 演習内容での気づきや学びを活用し、実習で学びたい具体的内容を整理する。	【担当者】精神看護学分野 高間さとみ / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
9 [4月9日 (木) 1限] 【131講義室】	健康レベルの変化により生活の場が変わる対象への支援 / 【キーワード】 生涯発達, 健康寿命, 地域包括センター, 多職種連携,	予習・復習: 授業到達目標達成に必要な課題をmanabaに事前に提示する	【担当者】老年看護学分野 三好陽子 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
10 [4月9日 (木) 2限] 【121講義室】	地域包括ケアシステムのなかでの医師の役割 / 【キーワード】 地域連携、地域志向, プライマリケア かかりつけ医機能と地域包括ケアシステム	予習: 地域連携バスや在宅医、地域で生活する人々を支援する医療体制についてネット等も活用して調べておく 復習: 講義内容を整理する	【担当者】地域医療システム学講座 孫 大輔 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
11 [4月9日 (木) 3限] 【121講義室】	医療施設で働く様々な職種間の協働・連携 (薬剤師、MSW、遺伝カウンセラーの多職種連携) / 【キーワード】 多職種連携, 協働	予習: 多職種連携の意味や場面によって異なる多職種を構成する職種について調べてまとめておく 復習: 講義内容を職種別に整理し、まとめる	【担当者】薬剤師・藤吉正哉, SMW・大塚めぐみ, 遺伝カウンセラー・野中智生 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))
13 [4月10日 (金) 1限] 【261・262講義室】	地域で生活する子ども・子育て世代への支援の実践, 鳥取県における母子の地域包括ケア / 【キーワード】 医療政策, 地域包括ケアシステム, 子ども, 子育て世代	予習: 講義で学習した地域包括ケア システムおよび「健やか親子21 (第2次)」および、子育て世代包括支援センターの仕組みについて再度確認をしておく 復習: 講義内容を振り返り関係機関 とその活動内容についてまとめる	【担当者】県庁: 医療政策・母子保健、母性・小児家族看護学講座/山崎歩、金山俊介 / (対面可: 対面、対面不可: パター3遠隔(リアルタイム学習))

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
12 [4月10日(金) 2限] [261・262講義室]	GW：リスクマネジメントとインシデント対応／【キーワード】看護管理、インシデント分析、なぜなぜ分析、インシデント予防のための対策	予習：第2～4回の講義を基に、インシデント分析についてまとめ、事例の分析が行えるように方法を復習しておく。復習：グループで行った事例の分析内容を振り返り、整理する。	【担当者】母性・小児看護学講座 金山俊介，大島麻美，服部多恵，大谷多賀子，山崎歩，藤田小矢香，鈴木康江／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔(リアルタイム学習)）
14 [4月10日(金) 3限] [261・262講義室]	GW：卒後教育の実態とあり方／【キーワード】看護管理、教育体制、新人教育、キャリアマネジメント、リスクマネジメント	予習：第12回までの講義内容での学びを各自でまとめておく。復習：グループでの発表のための資料を整理する。	【担当者】母性・小児看護学講座 金山俊介，大島麻美，服部多恵，大谷多賀子，山崎歩，藤田小矢香，鈴木康江／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔(リアルタイム学習)）
15 [4月13日(月) 3限] [122講義室]	学びの統合・発表（討議・共有）／【キーワード】地域包括ケア、多様な対象者へのケア内容、まとめ	予習：各自の発表内容について確認、質疑応答できるようにする。また、他学生の発表内容を確認しておく。復習：各領域での特徴についてまとめる	【担当者】母性・小児看護学講座 金山俊介，大島麻美，服部多恵，大谷多賀子，山崎歩，藤田小矢香，鈴木康江／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔(リアルタイム学習)）

科目コード／Subject Code	M7416044
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	クリティカルケア看護学実習
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	野口 佳美, 谷村 千華, 大庭 桂子, 佐伯 由美, 長谷川 慶幸
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	野口佳美（成人・老人看護学208室） 大庭桂子（成人・老人看護学203室） 長谷川慶幸（成人・老人看護学213室） 佐伯由美（成人・老人看護学213室） 谷村千華（成人・老人看護学205室）
オフィスアワー／Office Hours	野口佳美（月～金曜日：12時～13時 その他応相談） 大庭桂子（月曜日：12時～13時、その他の曜日・時間帯は応相談） 長谷川慶幸（月曜日：12時～13時） 佐伯由美（月曜日：12時～13時） 谷村千華（水曜日：12時～13時 その他応相談）
担当教員への連絡方法／Contact Details	野口佳美（TEL：0859-38-6319, mail：noguchi@tottori-u.ac.jp） 大庭桂子（TEL：0859-38-6313, mail：keiko.o@tottori-u.ac.jp） 長谷川慶幸（TEL：0859-38-6317, E-mail：y-hasegawa@tottori-u.ac.jp） 佐伯由美（TEL：0859-38-6317, mail：pusuke@tottori-u.ac.jp） 谷村千華（TEL：0859-38-6315, mail：chika01@tottori-u.ac.jp） ※メールで連絡する際は、件名に科目名、本文の学生番号、氏名を必ず記載すること。
授業の目的と概要／Course Description and Outline	【目的】集中的・高度な治療を必要とするクリティカル期にある対象者とその家族について総合的に理解し、医学的治療ならびに療養生活の支援に必要な看護について理解することができる。また、治療の選択や意思決定支援に必要な能力・姿勢について考えることができる。 【概要】実習単位および実習期間：単位：1単位(45時間)、2) 期間：1グループ 1週間、3) 集中的かつ高度な治療を要する対象者のおかれる環境や必要な看護について、看護師と共に行動し、見学・実践することから学ぶ。
キーワード／Keywords	クリティカルケア看護、臨床判断、療養支援、意思決定支援、家族看護、多職種連携・協働
到達目標／Objectives	1. 集中的・高度な治療を必要とするクリティカル期に対象者とその家族について、身体的、心理的、社会的、スピリチュアルな側面から理解することができる。（関係性形成能力） 2. 医学的治療ならびに療養生活の支援に必要な看護について計画的・意図的に看護を実践できる能力を実践を通して考えることができる。（健康課題解決能力） 3. クリティカル期にある対象者とその家族への実践を通して、クリティカルケア領域における看護に必要な能力を身につけることができる。（看護実践能力） 4. クリティカル期にある対象者とその家族に対する看護師の役割、他の医療職者との連携・協働について学ぶことができる。（連携・協働能力） 5. クリティカル期にある対象者への看護を通して、自己の関わりを客観的に捉え、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身につけることができる。（専門性追求能力）
他の科目との関連／Prerequisite	専門領域必修科目全般：人体の構造と機能、疾病論、健康障害と看護、生活援助論演習、クリティカルケア看護実践過程演習など
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護、南江堂、2023 成人看護学 成人看護技術、南江堂、2023
授業の形式／Classwork	臨地実習、学内カンファレンス、グループワーク、プレゼンテーション
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	成績評価表をもとに評価：実習記録・参加度について4段階で評価（55%）、課題レポート（30%）、共有カンファレンス（15%）
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	成人看護学実習を振り返り、集中的かつ高度な治療を要する対象者を知ろうとする姿勢をもって関わしましょう。クリティカルな状況、手術や治療・処置が対象者に与える影響について知識を投入し思考し、看護師に必要な能力・姿勢を養いましょう。

授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	・集中的かつ高度な治療を要する患者の特徴について理解し、特有な治療・管理および臨床判断プロセス、実践力の修得、高度実践看護師の役割などについて学ぶことができるために実習計画を立案し、実習要項に基づき計画書を作成する。 ・集中的かつ高度な治療を要する患者および家族・重要他者に対して、治療への反応等のアセスメントを基盤に看護を実践し、実践した内容を振り返り実習記録に的確に記述する。 ・適宜、クリティカルケアチームメンバー、看護師長、実習指導者や教員と共に、治療・管理および臨床判断プロセス、高度看護実践について評価・検討を行う。 ・救命救急センターでは、救急搬送、初療およびポストケアの過程の見学や実践を通して、看護師の役割、チーム連携について学ぶ。 ・クリティカル期にある対象者とその家族について総合的に理解し、医学的治療ならびに療養生活の支援に必要な看護についてグループで学びの共有をし理解を深める。また、治療の選択や意思決定支援に必要な看護師に必要な能力・姿勢について学ぶ。
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識）、現代的教養（特定の専門分野に関する理解）、現代的教養（論理的な課題探求と解決力）、現代的教養（創造性に富む思考力）、人間力（自律性に基づく実行力）、人間力（多様な環境下での協働力）、人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している、2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる、3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している、4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	クリティカルケア看護の臨床経験と専門的知識を持つ教員および臨地実習指導者が、学生の到達目標達成にむけて指導する。

科目コード／Subject Code	M7416045
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	包括的支援統合実習
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	鈴木 康江, 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 松浦 治代, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 宮本 まゆみ, 中條 雅美, 山崎 歩
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	3.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	鈴木 康江, 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 松浦 治代, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 宮本 まゆみ, 中條 雅美, 山崎 歩, 兵頭 由季, 坂根 可奈子 看護学専攻教員（全員）：アレスコ棟1号館、1階～4階）
オフィスアワー／Office Hours	月～金：8：30～17：00（事前にメール等でアポイントメントをとると確実です）
担当教員への連絡方法／Contact Details	鈴木康江（0859-38-6326、ysuzuki@tottori-u.ac.jp、アレスコ棟306号室） 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 松浦 治代, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 宮本 まゆみ, 中條 雅美, 山崎 歩, 兵頭 由季, 坂根 可奈子各研究室へ（アレスコ棟1号館）
授業の目的と概要／Course Description and Outline	多様な対象者に対する対象中心の包括的支援の実際を知り、包括的支援における看護（職・学）の果たす役割を理解することを目的とする。 1) 対象の多様性に対応した対象中心の多職種連携による包括的支援の実際を学ぶ。そのために、対象の多様性をライフサイクル、健康レベル、生活の場などの視点から捉え、その対象の多様性に対応した専門的あるいは特徴的な看護が提供されていることを看護実践の体験を通して理解することができる。 2) 包括的支援において看護職が役割を発揮し対象者に適切な看護を提供する仕組みについて体験を通して理解することができる。
キーワード／Keywords	対象中心ケア、包括的支援、多職種連携・協働、看護管理、専門的看護
到達目標／Objectives	1) 対象の多様性に対応した対象中心の多職種連携による包括的支援の実際 (1) ライフサイクル、健康レベル、生活の場などの視点から包括的支援を必要とする対象の多様性について述べることができる。 (2) 対象の多様性に対応した専門的・特徴的な看護実践の実際を述べることができる。 (3) 対象の多様性に対応した包括的支援における看護の役割について自身の考えを述べることができる。 2) 包括的支援において看護職が役割を発揮し対象者に適切な看護を提供する仕組み (1) 組織における看護提供の仕組みについて述べることができる。（医療機関・保健行政機関・教育機関） (2) 組織における看護提供の実際を述べることができる。
他の科目との関連／Prerequisite	包括的支援統合演習
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	適宜、紹介します
授業の形式／Classwork	実習
成績の評価方法と基準 ／Assessment	評価は、〔実習（各領域）：80%、ポスター発表：20%〕で評価する。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	3年生の末に各領域は希望調査の上、配属しました。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	要項を参照

教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	・現代的教養（特定の専門分野に関する理解） ・現代的教養（論理的な課題探求と解決力） ・現代的教養（創造性に富む思考力） ・人間力（自律性に基づく実行力） ・人間力（多様な環境下での協働力） ・人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床経験のある教員による指導。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
3単位	各領域の要項に沿って実習	予習;要項を熟読し、実習内容を確認しておくこと	看護専攻教員（全員）
8月6日2・3限（講義室：公衆衛生学実習室）	発表会	予習：発表の要項に従って準備しておくこと。	

科目コード／Subject Code	M7416047
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	看護学研究法 I
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	坂根 可奈子
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	月 2
単位区分／Unit Classification	必修
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	坂根可奈子（基礎看護学）アレスコ棟1階104教員室
オフィスアワー ．／Office Hours	月曜日 1 限 事前にメールで連絡を頂けますと確実です その他、在室時はいつでも
担当教員への連絡方法 ．／Contact Details	教員室TEL:0859-38-6304 E-mail:k-sakane@tottori-u.ac.jp
授業の目的と概要 ．／Course Description and Outline	看護職者の役割と責務、および、看護の基礎となる人間と健康生活の理解を基盤とし、人間、健康、環境、看護に関する専門的知識と技術の修得や看護学の発展に寄与する研究方法論について学ぶ。看護実践の中から学生自身が関心のある看護現象を選択し、論理的・創造的能力を用いて、研究課題を自律的に探求する。倫理的配慮を含めた研究過程を学ぶ。
キーワード ．／Keywords	研究過程、クリニカルレスポンス、リサーチレスポンス、研究方法論、研究デザイン、研究方法、研究倫理
到達目標 ．／Objectives	1. 研究過程を説明できる。 2. 看護実践の中からクリニカルレスポンス、リサーチレスポンスを明確にできる。 3. 研究方法論に準拠して具体的な研究方法を説明できる。 4. 研究を行ううえで必要な倫理を説明できる。
他の科目との関連 ．／Prerequisite	研究成果活用法、その他既修得科目
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	教科書 看護と研究 根拠に基いた実践 Evidence-based-practice 西垣昌和編 南江堂 参考書 看護研究で迷わないための超入門講座 西條剛央 医学書院 看護研究 ミニマム・エッセンシャルズ 川口孝泰 医学書院 看護研究サポートブック 足立はるゑ メディカ出版
授業の形式 ．／Classwork	講義、グループワーク、課題
成績の評価方法と基準 ／Assessment	講義内容に関連する課題レポート 50点 （10点×5回） クリニカルレスポンス～研究計画 レポート（講義6～8回のワークの成果をまとめる） 50点
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	今までの講義、演習、実習、社会活動などで疑問に思ったことを想起してみてください。その疑問を研究という方法を用いて明らかにしていく過程を学びましょう。新しい知識を創出して看護学の発展に寄与する、あるいは、研究により創出された知識を実践に活用して看護の質向上に寄与する、など専門職者として成長していく自分と出会い、新たな発見を得ることを楽しみましょう。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識） 現代的教養（特定の専門分野に関する理解） 現代的教養（創造性に富む思考力）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている
実務経験 ．／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	看護実践に携わった経験をもつ教員が講義を担当する

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1	看護における研究の役割／研究過程の概観 研究の意義と目的、科学研究の限界、研究過程について説明できる。	(予習) 研究の意義と目的 (復習) 研究過程	4月6日(月) 2限 261講義室
2	研究デザイン／概念枠組み 研究デザインと研究の概念枠組み、研究方法について説明できる。	(予習) 研究デザインの種類 (復習) 研究方法の種類と特徴	4月13日(月) 2限 261講義室
3	研究倫理／研究計画／研究成果発表 研究を行う際の倫理的配慮を理解し、研究計画書作成と成果発表方法について説明できる。	(予習) ヘルシンキ宣言、倫理指針 (復習) 研究協力の説明と同意	4月13日(月) 4限 261講義室
4	横断研究／ランダム化比較試験 横断研究の概要、ランダム化比較試験の特徴を説明できる。	(予習) 量的研究のデザイン (復習) 横断研究、ランダム化比較試験の特徴	4月20日(月) 2限 261講義室
5	システマティックレビュー／現象学的研究 システマティックレビュー／現象学的研究の特徴を説明できる。	(予習) 質的研究のデザイン (復習) システマティックレビュー／現象学的研究の特徴	4月20日(月) 3限 261講義室
6	研究課題を明確にする(1) クリニカルクエスチョンからリサーチクエスチョンへ、課題を明確にする。	(予習) クリニカルクエスチョン (復習) リサーチクエスチョンに関連する文献入手	4月27日(月) 2限 261講義室
7	研究課題を明確にする(2) 文献の吟味する。 研究デザイン、研究方法を考える。	(予習) 文献の吟味 (復習) 倫理的配慮	5月7日(木) 2限 261講義室
8	研究課題を明確にする(3) 研究計画について説明、討議し、洗練する。	(予習) プレゼンの準備 (復習) 研究計画の洗練化	5月7日(木) 3限 261講義室

科目コード／Subject Code	M7416056
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	助産診断・技術学演習Ⅱ
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	鈴木 康江, 大谷 多賀子, 藤田 小矢香, 大島 麻美, 服部 多恵
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	前期
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	選択
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	本講義中にBe-Real等のアプリやSNS使用は厳禁します。
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	鈴木 康江、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（母性・小児家族看護学講座：助産分野）
オフィスアワー／Office Hours	月～金（8:30～17:00）事前にメールでアポイントメントとると確実です。
担当教員への連絡方法／Contact Details	鈴木 康江（ysuzuki@tottori-u.ac.jp、0859-38-6326,306研究室） 大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（314研究室、0859-38-6327）
授業の目的と概要／Course Description and Outline	分娩期の介助技術と付随する様々な状況に応じた助産ケアについて体験し、学修する。
キーワード／Keywords	助産診断、臨床推論、初期計画、助産ケア、分娩介助
到達目標／Objectives	1. 妊婦健診の助産診断・技術の理解と実践ができる。 2. 分娩期の助産診断・助産技術の理解と実践ができる。
他の科目との関連／Prerequisite	助産関連科目（周産期医学、助産概論、基礎助産学、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ、助産診断・技術学演習Ⅰ、母性看護学、母性看護学実習、小児看護、小児看護学実習）を統合して、実践演習します
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	基礎助産学、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ、助産診断・技術学演習Ⅰで使用したテキストおよび資料
授業の形式／Classwork	演習：助産実習室で実践的演習を実施します。
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	4月1日：筆記試験（20%） 4月28日：技術試験（1）分娩介助（40%）・・・合格できなければ、実習での介助不可 4月28日：技術試験（2）事例対応（20%） 記録物：指導案等（20%） ※技術試験（1）の再試験：5月18日
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	実践的な演習をします。実習ができる服装（白衣・シューズ）、髪をまとめる、爪など新生児に触れていい状態にして参加ください。 実習直前の演習です。体調を整えて参加ください。技術は一人での練習では高めることが難しいので、学生協働してスキルアップできるようにしましょう。 助産師国家試験の受験要件講義 演習時間以外で実習室を開放しますので、各自で技術練習をしましょう。 実習室の使用は規定に沿った使用をしてください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	・現代的教養（特定の専門分野に関する理解） ・現代的教養（論理的な課題探求と解決力） ・現代的教養（創造性に富む思考力） ・人間力（自律性に基づく実行力） ・人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床実践の経験をもとに、より実践的な演習を実施

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1[4/1(水)1時限]【助産学実習室】	筆記試験(30分) オリエンテーション	予習・復習: 助産実習要項を熟読してください	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江・大谷多賀子、大島麻美・服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
2[4/1(水)2時限]【助産学実習室】	健康診査: 妊婦	予習・復習: 妊婦健診の目的、方法、手技等の他、妊婦健康診査の各期における保健指導案について準備してください	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
3[4/1(水)3時限]【助産学実習室】	健康診査: 新生児	予習: 助産録(新生児)の記載項目、内容、助産診断について	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江、大谷多賀子、服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
4[4/2(木)1時限]【助産学実習室】	分娩室入室から分娩3期までの手技	予習・復習: 分娩I期から3期までの経過と観察ポイント、手技、保健指導についてまとめる	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
5[4/2(木)2時限]【助産学実習室】	健康診査: 褥婦	予習・復習: 分娩IV期以降の経過と観察ポイント、助産技術、保健指導についてまとめる	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江・大谷多賀子、大島麻美・服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
6[4/2(木)3時限]【助産学実習室】	記録方法: 助産録用紙(妊娠期)	予習: 助産録(妊娠期)の記載項目、内容、妊婦健診記録について	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江・大谷多賀子、大島麻美・服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
7[4/3(金)1時限]【助産学実習室】	記録方法: 助産録用紙(分娩期)	予習: 助産録(分娩期)の記載項目、内容、助産診断について	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江・大谷多賀子、大島麻美・服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
8[4/3(金)2時限]【助産学実習室】	記録方法: 助産録用紙(産褥期)	予習: 助産録(産褥期)の記載項目、内容、助産診断について	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江・大谷多賀子、大島麻美・服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
9[4/3(金)4時限]【助産学実習室】	記録方法: 助産録用紙(新生児期)	予習: 助産録(新生児期)の記載項目、内容、助産診断について	【担当者】母性・小児家族看護学・鈴木康江・大谷多賀子、大島麻美・服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
10[4/21(火)3時限]【助産学実習室】	総合技術: NST, 内診、妊婦健診等	予習・復習: 分娩から帰室までの観察、ケアについてまとめる	【担当者】母性・小児家族看護学・大谷多賀子、大島麻美、服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
11[4/21(火)4時限]【助産学実習室】	総合技術: 新生児健康診査、蘇生、沐浴等	予習・復習: 早期新生児期の観察ポイント、保健指導についてまとめる	【担当者】母性・小児家族看護学・大島麻美、服部多恵／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
12[4/22(水)1時限]【助産学実習室】	保健指導: 外来、入院等	予習・復習: 外来保健指導(案)のブラッシュアップについてまとめる	【担当者】母性・小児家族看護学・大谷、大島、服部／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))
13[4/22(水)2時限]【助産学実習室】	実習シミュレーション	予習・復習: 入院時の初期診断から分娩室までの助産計画	【担当者】母性・小児家族看護学・大谷、大島、服部／(対面可: 対面、対面不可: パターン3遠隔(リアルタイム学習))

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
14[4/28(火) 3 時限] 【助産学実習室】	技術試験 (1)	予習・復習：分娩介助の技術について手順および留意点を確認しておく	【担当者】母性・小児家族看護学 鈴木康江、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔（リアルタイム学習））
15[4/28(火) 4 時限] 【助産学実習室】	技術試験 (2)	予習・復習：妊娠期、産褥期、新生児期の技術について手順および留意点を確認しておく	【担当者】母性・小児家族看護学 鈴木康江、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵／（対面可：対面、対面不可：パター3遠隔（リアルタイム学習））

科目コード／Subject Code	M7414110
ナンバリング／Numbering	MNMD3301
科目名／Subject Name	助産業務管理実習
英文科目名／Subject English Name	Practice of Midwifery Management
担当教員／Teacher Name	鈴木 康江, 大谷 多賀子, 藤田 小矢香, 大島 麻美, 服部 多恵
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	選択
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	鈴木 康江（母性・小児家族看護学・306号室）、藤田小矢香（304号室）、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（314号室）
オフィスアワー／Office Hours	月曜日（14時～17時） 事前にメールでアポイントメントをとると確実です。
担当教員への連絡方法／Contact Details	鈴木康江（電話：0859-38-6326、メール：ysuzuki@tottori-u.ac.jp、アレスコ棟306研究室） 藤田小矢香（電話：0859-38-6324、アレスコ棟304号） 大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（電話：0859-38-6327、アレスコ棟314号）
授業の目的と概要／Course Description and Outline	助産活動の実践場所で助産業務とその管理、運営について学ぶ。
キーワード／Keywords	助産管理 地域周産期医療 周産期システム 産科補償制度 医療法等の法制と助産管理 災害・危機管理
到達目標／Objectives	1. 医療チームの一員として、母子および家族への看護管理ができる。 2. 助産所の開設、運営について理解できる。 3. 母子および家族の望む助産活動を考えることができる。
他の科目との関連／Prerequisite	3年生後期迄の助産科目、母性看護、小児看護、公衆衛生看護学との関連があるので復習しておくこと
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	看護学専攻 実習共有ガイダンス、実習要項、助産学実習要項（鳥取大学医学部保健学科編）
授業の形式／Classwork	実習
成績の評価方法と基準 ／Assessment	実習記録、実習に対する態度等（80%）とレポート（20%）を評価表に基づいて評価する。
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	無断欠席、遅刻は、厳に慎むこと。 実習時間については、教員連絡会で具体的に説明いたします。 到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。 担当者は変更する場合がある。 助産業務管理実習を履修するためには、看護必修科目（卒業要件科目）および助産師国家試験必須科目（選択科目）の履修を全て修得（見込み可）できていること。 助産師国家試験の受験要件講義
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	授業内容： 実習前に配布する要項を参照ください。 *（医学部附属病院3A病棟） （鳥取県立中央病院）（鳥取県立厚生病院） （山陰労災病院） （母と子の長田産科婦人科クリニック）（彦名レディスライフクリニック） を利用して実施する。 実習内容は「助産学実習要項」を参照。 予習・復習内容：（予習）・「助産学実習要項」を熟読する ・「実習評価基準」の実習前のチェックを実施してから実習に臨むこと 担当者：母性・小児家族看護学・鈴木 康江、大谷 多賀子、大島 麻美、服部 多恵、藤田 小矢香 期間： 1週 詳細は別途指定します。

教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	・現代的教養（文化・社会・自然に関する幅広い知識） ・現代的教養（特定の専門分野に関する理解） ・現代的教養（論理的な課題探求と解決力） ・人間力（自律性に基づく実行力） ・人間力（多様な環境下での協働力） ・人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	教員は全員、助産実践の経験をもち指導をする。臨床指導者においても臨床経験豊富で該当施設で認定された指導者が指導にあたる。（アドバンス助産師）

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1週間	助産業務管理実習	予習・復習：要項参照に掲載している課題について調べ、まとめておく。	

科目コード／Subject Code	M7414061
ナンバリング／Numbering	MNMD3302
科目名／Subject Name	助産学実習
英文科目名／Subject English Name	Clinical Practice of Midwifery
担当教員／Teacher Name	鈴木 康江, 大谷 多賀子, 藤田 小矢香, 大島 麻美, 服部 多恵
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	選択
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	10.0
準備事項／Matter of Prepare	体調を整えること。
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	鈴木 康江（母性・小児家族看護学、306号室）、藤田小矢香（304号室）、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（314号室）
オフィスアワー／Office Hours	月曜日（15時～17時）
担当教員への連絡方法／Contact Details	0859-38-6326（内線：6326）、ysuzuki@tottori-u.ac.jp,
授業の目的と概要／Course Description and Outline	【目的】 妊娠・分娩・産褥・新生児期における健康診査ができ、助産過程の展開を行い、その時期に応じた保健指導・健康教育を行うことができる。
キーワード／Keywords	助産診断 助産過程 保健指導 妊婦健診 分娩介助 間接介助 新生児ケア 産褥期ケア 退院指導 家族計画指導
到達目標／Objectives	1. 妊産褥婦・新生児の健康診査・健康教育ができる。 2. 対象の個別性を考えに入れた分娩経過の予測をし、助産過程の展開ができる。 3. 分娩介助の実施を行い、対象とその家族にとって最良の分娩ができるよう援助する。 4. 受胎調節の意義を理解し実施できる。 5. ハイリスクの対象に助産過程の展開ができる。 6. 地域の母子保健の現状を情報収集、アセスメントし、問題点を抽出・対策の立案ができ、助産師として保健指導ができる。 7. 10例の直接分娩介助ができる（助産師養成施設指定要項より）
他の科目との関連／Prerequisite	助産概論，基礎助産学，リプロダクティブヘルスケア論，助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ，助産業務管理論，母性看護学，小児看護学，公衆衛生看護学 ※助産診断・技術学演習Ⅱの科目単位を修得（60点以上）でなければ、助産学実習はできない。
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	看護学専攻 実習共有ガイダンス，実習要項，助産実習要項（鳥取大学医学部保健学科編）
授業の形式／Classwork	臨床実習
成績の評価方法及び基準 ／Assessment	評価方法は要項に記載の通りで各項目の到達度で評価する。技術等（25％）記録（15％）カンファレンス参加（10％）実習参画態度等（50％）の計100％で評価する。※要項参照
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	無断欠席は厳に慎むこと。 担当者は変更する場合がある。 到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。 実習時間については、教員連絡会で具体的に説明いたします。 助産業務管理実習を履修するためには、看護必修科目（卒業要件科目）および助産師国家試験必須科目（選択科目）の履修を全て修得（見込み可）できていること 自身の健康管理ができなければ、対象者の健康を守ることはできません。セルフモニタリングできるようにしましょう。体調不良の時は報告・相談をすること。 助産師国家試験の受験要件講義

授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	授業内容： 実習前に配布する要項を参照ください。 *（医学部附属病院3AD病棟） （鳥取県立中央病院）（鳥取県立厚生病院） （山陰労災病院） （母と子の長田産科婦人科クリニック）（彦名レディースライフクリニック）を利用して実施する。 実習内容は「助産学実習要項」を参照。 予習・復習内容： （予習）・「助産学実習要項」を熟読する ・「実習評価基準」の実習前のチェックを実施してから実習に臨むこと ・実習中程度まで進んだら、中間評価を実施すること ・実習終了時に最終評価を実施すること 担当者： 母性・小児家族看護学・鈴木 康江、大谷 多賀子、大島 麻美、服部 多恵、藤田 小矢香 期間：10週 詳細は別途指定します。
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	・現代的教養(特定の専門分野に関する理解) ・現代的教養(論理的な課題探求と解決力) ・現代的教養(創造性に富む思考力) ・人間力(自律性に基づく実行力) ・人間力(多様な環境下での協働力) ・人間力(高い倫理観と市民としての社会性)
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	1. 文化、社会、自然に関する幅広い知識や各専門分野に関する深い知識を有し、これを理解するとともに、知識獲得のための方法と技能を有している。 2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験 ／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	教員は全員、助産実践の経験をもち指導をする。臨床指導者においても臨床経験豊富で該当施設で認定された指導者が指導にあたる。（アドバンス助産師）

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
5/18 1限 【助産実習室】	実習オリエンテーション	予習・復習：実習要項を読み、実習前の自己評価を実施すること。自身の傾向・課題を明確にして、今後の実習について戦略的に実習できるように準備しましょう。	
1～10週	要項参照	予習・復習：実習要項を読み、日々の実習で自己評価を実施すること。自身の傾向・課題を明確にして、今後の実習について戦略的に実習できるように準備しましょう。	

科目コード／Subject Code	M7416058
ナンバリング／Numbering	
科目名／Subject Name	包括的地域助産学実習
英文科目名／Subject English Name	
担当教員／Teacher Name	鈴木 康江, 片岡 英幸, 雑賀 倫子, 安部 由紀, 野口 佳美, 金田 由紀子, 谷村 千華, 仁科 祐子, 大谷 多賀子, 深田 美香, 三好 陽子, 大庭 桂子, 藤田 小矢香, 佐伯 由美, 金山 俊介, 元井 希, 高間 さとみ, 長谷川 慶幸, 大島 麻美, 南前 直都, 服部 多恵, 兵頭 由季, 宮本 まゆみ, 坂根 可奈子, 中條 雅美, 山崎 歩
クラス／Class	
開講学期／Semester	前期
対象学年／Lectures Target	4
開講時期／Quarter	通年
講義室／Room	
科目区分／Subject Classification	専門科目
曜日・時限／Week・Hour	他
単位区分／Unit Classification	選択
授業形態／Lecture Form	一般講義
単位数／Unit Count	1.0
準備事項／Matter of Prepare	
備考／Note	
担当教員所属・研究室 ／Department/Center and Room	鈴木 康江（アレスコ棟1号館 306号）、大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（アレスコ棟1号館 314号）
オフィスアワー／Office Hours	月～金（8：30～17：00） 事前にメールでアポイントメントをとると確実です。
担当教員への連絡方法／Contact Details	鈴木康江（電話：0859-38-6326、メール：ysuzuki@tottori-u.ac.jp、アレスコ棟1号館306号） 大谷多賀子、大島麻美、服部多恵（電話：0859-38-6327、アレスコ棟314号）
授業の目的と概要／Course Description and Outline	地域とつながる助産師活動について、妊娠期から子育て期における切れ目のない支援について継続したケアを習得する
キーワード／Keywords	地域助産ケア、産後ケア、産前ケア、地域周産期、乳児健診
到達目標／Objectives	1. 地域での助産師の活躍の場について理解し説明できる。 2. 包括的支援における助産師の役割について説明できる 3. 子どもの成長、発達と子育てについて地域を包括的支援をすることの意味・意義について理解できる。
他の科目との関連／Prerequisite	助産学実習をはじめ助産・母性・小児・公衆衛生・包括的統合支援実習等と関連
教科書（テキスト）・参考書 ／Textbooks and Bibliography	看護学専攻 実習共有ガイダンス、実習要項、包括的地域助産学実習要項（鳥取大学医学部保健学科編）
授業の形式／Classwork	実習
成績の評価方法と基準 ／Assessment	要項に記載（評価表に基づく） 実習目標の達成度（100％）で評価
担当教員からのメッセージ ／Message from the Teacher	助産実習の総まとめの実習です。助産師の役割、活動の場を体験してください。
授業計画（コマ単位で記入できない科目：卒業研究や実習など） ／The course which is not conducted by the class, graduation research, practice, etc.	実習要項参照
教育グランドデザインとの関連 ／Educational Grand Design	・現代的教養（特定の専門分野に関する理解） ・現代的教養（論理的な課題探求と解決力） ・現代的教養（創造性に富む思考力） ・人間力（自律性に基づく実行力） ・人間力（多様な環境下での協働力） ・人間力（高い倫理観と市民としての社会性）
ディプロマ・ポリシーとの関連 ／Diploma Policy	2. 論理的思考力、的確な判断力、創造的表現力に基づき様々な諸課題を探究し解決を志向できる。 3. 地域・国際社会での将来の活動に興味・関心を持ち、主体的・継続的に学び、自らの人生を豊かにする生涯学習力を有している。 4. 健全な倫理観を有し、豊かなコミュニケーションをもとに他者と協働し実践する力を身につけている。
実務経験／Work experience	有
実務経験と授業科目の関係性 ／Relationship between the work experience and the course	臨床助産、診療の経験のあるものが指導します。

授業計画詳細／Course schedule

回 ／Times	授業内容 ／Course Contents	予習・復習内容 ／Contents Of Preparation Review	備考 ／Note
1	オリエンテーション、助産師と地域	予習・復習：要項に掲載	10/1②
2	産前産後ケアはぐはぐ：実習①	予習・復習：要項に掲載	10/7, 8 ②③④（選択し てなければ①）
3	産前産後ケアはぐはぐ：実習②	予習・復習：要項に掲載	10/21, 22②③④（選択 してなければ①）
4	子育て長田こどもクリニック：実習①	予習・復習：要項に掲載	10/8, 9 ③④
5	子育て長田こどもクリニック：実習②	予習・復習：要項に掲載	10/22, 23③④
6	実習のまとめ：発表	予習・復習：要項に掲載	10/29 2限【助産実習室 】